

総合的な学習の時間の基本方針

1 総合的な学習の時間で目指す子ども

実社会とのかかわりの中から見いだした課題について、探究的、協働的に取り組むことを通して、既存の知識や経験、様々な情報を基に課題解決につながるよりよい考えを創り出し、自己の生き方を考える子ども

総合的な学習の時間では、唯一絶対の答えがない実社会の課題を自分のこととして受け止め、他者と協働しながらよりよい解決を目指して行動し続けていくことが重視されている。さらに、子どもが、既存の知識や経験、収集した様々な情報同士を比較したり関連付けたりして、課題解決につながるよりよい考えを更新し続け、自己の生き方とつなげて考えることが求められている。

この一連の探究のサイクルの中で、子どもは各教科で育んだ見方・考え方を総合的に働かせる。そして、その際発揮される資質・能力を、自覚する姿が、当校の総合的な学習の時間で目指す子どもの姿である。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり

○ 第3学年

数値を基に事実と自他の思いとを関連付けて、取り組むべき課題を設定する子ども

志田は、第3学年において、まず、地域にある学習対象（ものや人）に十分触れさせる。子どもは多様な知識を得るとともに愛着をもつ。その後、その学習対象が抱える将来的な問題点に出合わせる。子どもは「学習対象を守るために自分にできることをしたい」という思いをもつ。

思いを実現するために、子どもは調査活動を行ったり同じ思いをもつ専門家と出会ったりする。そのとき、調査の結果や専門家の取組の事実を数値化して提示する。子どもは数値から問題の状況を把握する。その後、解決の方法を考えさせる。子どもは明らかにした事実とそれまでの経験や他教科の学習で身に付けた知識・技能、専門家や自分の思いとを関連付け、より妥当な課題を設定していく。

解決に取り組ませた後は、成果と課題を振り返らせる。成果につながった要因を考えることで、子どもは自分が発揮した資質・能力を自覚し、有用感を得る。

○ 第6学年

様々な資質・能力やツールを用いて協働的に探究し、現代的な課題と関連付けて自己の生き方を考える子ども

片山は、第6学年において、まず、学習対象についてずれを感じる動画を見せて問いをもたせる。そして、グループでツールを用いて課題解決のための調査活動をさせ、交流させる。

次に、調査で分からなかったことについて、体験させたり、ゲストティーチャーから情報を収集させたりする。

さらに、その課題を解決するために実際に取り組んでいる人の思いを、ツールを用いて情報を収集させ、整理・分析させ、価値を考えさせる。これらの一連の探究を、ツールで思考と情報を可視化し、「学びマップ」としてまとめながら取り組ませる。そして、単元の終末に、可視化した「学びマップ」（単元で一枚のデジタルマインドマップ）を用いて、自己の学びを省察させ、生き方と関連付けて考えさせる。

3 総合的な学習の時間で育成する資質・能力

<p>① 知識 ・ 技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題について，横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識 ○ 課題について，横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 <ul style="list-style-type: none"> 〔課題設定の技能〕 ・問題状況の中から課題を発見し設定する技能 〔情報収集の技能〕 ・課題解決に必要な情報を収集し分析する技能 〔思考の技能〕 ・多様な情報の中にある特徴を見付ける技能 〔表現の技能〕 ・集めた情報を分かりやすくまとめ，表現する技能 ○ 探究的な学習のよさの理解
<p>② 思考力 ・ 判断力 ・ 表現力</p>	<p>探究的な学習を通して身に付ける課題を見いだし解決する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔課題設定〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 実社会や実生活の中から問いを見いだし，自ら課題を立てる力 〔情報収集〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 妥当性や多様性を高めるために，自ら情報を集める力 〔整理・分析〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 多面性や信頼性を高めるために，事実を比較したり関連付けたりして自ら整理したり分析したりする力 〔まとめ・表現〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 論理性を高めるために，まとめたり表現したりする力
<p>③ 態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〔探究活動と自分自身〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な探究活動の経験を自信につなげ，次の課題へ進んで取り組もうとする態度 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする態度 ・自分らしさを発揮して探究活動に向き合い，課題解決に向けて取り組もうとする態度 ・探究的な課題解決の経験を自信につなげ，次の課題へ進んで取り組もうとする態度 〔探究活動と他者や社会〕 <ul style="list-style-type: none"> ○ 協働的な探究活動の経験を実社会・実生活への興味・関心へとつなげ，進んで地域の活動に参加しようとする態度 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて探究活動に協働的に取り組もうとする態度 ・異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に向き合い，目標の達成に向けて取り組もうとする態度 ・探究的な課題解決から実社会・実生活への興味・関心をもち，進んで地域の活動に参加しようとする態度

4 総合的な学習の時間で働かせる見方・考え方

<p>見方 ・ 考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえること ○ とらえた事象を，実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて考えること
-------------------------	---

